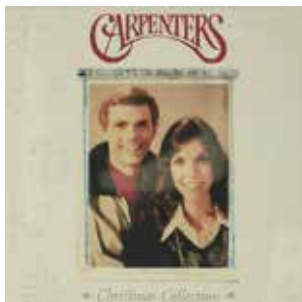


18曲しか唄えない、承知で雇ってくれた

ジャズボーカリスト
星乃けい

official website

<https://www.hoshinokei.com>

▲クリスマス・コレクション/
カーペンターズ

自由が丘のお店で2~3回のLIVEをした頃、六本木のお店でセッションホストの仕事をしている先輩の女性ボーカリストさんからお誘いをいただきました。ステージの半分は彼女が唄って、あとはお客様が自由に参加して楽しめるセッションスタイルです。自由が丘のお店みたいにピアノの周りにカウンター席があるような(昭和だな!)こじんまりした店内。ピアニストの故・新妻さんが経営する「ロスコスモス」というお店でした。私も数少ないレパートリーから歌わせていただきましたが、帰り際に、なんと新妻さんから「ここで唄わない?」ってお声をかけていただき、本当にびっくり。私はまだ自分のLIVEで唄うのが精一杯なのに、セッションのホスト役ということは、もっともっとたくさんの曲を知っていなければ恥ずかしい。そんなお話を新

妻さんにしたら、これからのために、ここで勉強をすればいいじゃないと言ってくれたのです。私を雇ってくれた初めてのお店はこの「ロスコスモス」でした。私が18曲しか唄えないことを承知の上で雇ってくれたので、新妻さんのお気持ちに応えるためにも、とりあえず広く浅くでいいので必死にレパートリーを増やしました。お客様と曲や歌のお話をしていると教えてもらえることがたくさんあったし、それに新妻さんには私のアレンジされた譜面が見えにくかったようなので、誰にでも見やすい譜面が必要なんだなあということにも気づきました。井の中の蛙みたいに、自分のLIVEだけをするということでは得られない貴重な経験を、こんな駆け出しジャズボーカリストにお金を払ってまでもしてくれた新妻さんには、感謝の気持ちでいっぱいです。もちろん私は、常に努力をしなきゃいけない日々もあって、悶々とした気持ちで六本木の交差点を渡る夜もたくさんありました。ああ、懐かしいなあ。残念ながら新妻さんは今、天国でピアノを弾いているのでお店はありませんが、六本木に行く度にお店の入っていたビルを見上げてしまいます。先日も見上げて「ロスコスモスがあったなあ、

冬になって星も月も綺麗だなあ」と、しんみりしていたのですが、見下ろすと街はもうクリスマスですね。クリスマス好きな私は、つつい色々なアーティストのクリスマスアルバムを買い込んでしまうんですが、Carpentersの「Christmas Collection」は何度聴いても素晴らしい!もちろんジャズの名盤もわんざかあって、クリスマスソング漬けの毎日です。クリスマスツリーを眺めながら、温かいお部屋でいい音楽。至福のひと時~。懐かしい人の事でも思い出しながら、新しい年を迎えましょうか。



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「NEARNESS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価支持される。